

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和5年度事業点検・評価調書

4-IV-9

4-IV-9

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	学習教材の開発
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	9 学習教材開発	関連団体	県文化課、佐渡市学校教育課
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内小・中学校等に対し、佐渡金銀山についての正しい知識の普及を図り、地域の誇りと郷土愛の醸成を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内小・中学校等の学齢に合わせた副読本等を開発(現行の副読本の更新・見直し)し、その活用を図る。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SDGsの理念をふまえた内容となるよう、令和6年度末までに副読本の改訂作業を完了させる。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現行の副読本の記載内容を精査するとともに、小・中学校での活用方法について検討を行った。 		
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現行の副読本の記載内容を精査(情報更新・内容充実)するとともに、小・中学校での活用方法について検討する。 <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現行の副読本の記載内容を精査(情報更新・内容充実)するとともに、小・中学校での活用方法について関係課と協議を行い、再編集に向け令和6年度に予算化した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 推薦書の内容と整合性を図る必要がある。 ■ 小・中学生が理解しやすい内容とする必要がある。 ■ 紙媒体ではなく、電子化をする必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 副読本の改訂に向けた関係者との協議を継続し、SDGsの理念に基づく副読本開発を行い、電子化等を含め、学校のニーズに合わせた教材への見直しを図り、令和6年度末までに改定後の副読本を発行する。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR5末の達成】度】◇ 概ね計画通りに進んでいることから、B評価とした。 〔 A ・ B ・ C 〕</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。